編輯室内外

東條内閣總理大臣は先般の地方長官會議に於て「一億國民が常に必勝の信念を堅持し、飽くまでも強靭なる鬪志を以て戰ひ抜く事である、」と訓示して居る、寔に重大なる決戰時下剴切な言葉である。之れに對し國家と國民生活にとつて戰爭は實踐的であると同時に迅速に果敢に徹底したものを要求さるるのである。戰爭政策を指導する朝野の責任者は常に戰爭生活の實踐者でなければならぬ。故に先づ自ら戰爭生活の範を他に垂れる熱と力の人でなければならぬ。公生活は勿論私生活に於ても光明正大でなければならぬ、戰爭政策指導の責任者乃ち大政翼賛會の幹部は勿論其他の責任者も己れを空しくする手辨當式の翼賛的精神を以てすることが緊要で、之れ終に「戰力の增強」を遂げらるるものであると論ずる者がある。共鳴せざるを得ない。

○統制行政は戰爭の進展と共に多面的となり其の行政視野は擴張される、それで各省の官吏は今までの直接關知しなかつた事柄に對して監視指導の責任を持つことが多くなつた。從つて當該官吏は各專門的知識を必要とすることとなつた「役人は素人の方がいゝ、半可通的に知つておるよりもずぶの素人の方がやりいゝ」と業者からいはれておるが斯の如きはいむべきことだ、須らく官吏は所管事項に關しては專門者たるべく勉強し當該問題に通曉し且素人的な捉はれぬ視野の廣さを失はぬことが肝要である。

○某縣では地方文化協會を組織し米英思想の排擊、科學精神の作興、藝術精神の涵養道德意識の昂揚、地方文化の傳統維持、風俗の創造、生活の文化的調整等の運動を開始することになつたと傳へらるるが實に適切なる方途である、然し組織が物をいふのではない、所謂組織倒れになつて折角の目標を失ふこととなつては寧ろ組織せざるに如かずである、須らく基本精神の重要なる點に留意し今日戰爭に依つて惹起された混沌たる一切の文化を、秩序なき狀態より新らしき秩序正しい文化、ゆとり、明るさ、うるほひのある文化を創造することに努力せねばならぬと思ふ。

○先般開かれた全國官房長事務打合會に於て湯澤内相は「單に事務的の處理に止まらず知事を扶けて部内重要事項に參與すると共に廳内外の連絡協調に意を用ひ、戰時下複雜困難なる地方行政の綜合的運營に遺憾なきを期し職責遂行上一層の工夫と努力とを望む」と訓示された、寔に剴切の言である。官紀の肅正と共に必要缺くべからざる緊要事と謂はなければならぬ、ゆめ怠るべからずと官房長各位に進言する。

○港灣行政の統一が暫定的に決定した。即ち戰時輸送力を確保強化する爲應急措置として内閣總理大臣の指定する重要港灣につき當該地方長官をして港灣運營力強化の觀點に立ち海務局税關鐵道局工務官などの關係機關の行政を綜合せしむることとした。事の難易は論ずるまでもなく地方長官は斷乎として其の職權に基き關係方面との協力に依つて港灣行政を一元的たらしむべきである。其の重要港灣として指定されたるは門司、八幡、若松、戸畑、神戸、大阪、名古屋、横濱、東京の九港である。此等諸港に於ては決戰下港灣運營力を最高度に發揮するの範を示されんことを望まざるを得ない。

○我國の興行が昔ながらの警察行政下にのみ置かれておつては徒らに取締的處置に嚴で藝能文化の育成といふ建設的方面に理解認識が缺けておる憾みがある、今回内務省當局指導の下に「大日本興行協會」が結成された、此一元的團體の誕生により興行行政上の統一と興行界の一大刷新を期待する。

○西鄕隆盛翁は一世の偉人である、翁は幼時より天とは何ぞや已れを捨てるとは如何なる事かとの大疑問をもつておつて終に之を了得した、生死を超越して生命もいらず名譽もいらず、財産もいらず、此のやつかいな人こそ事を相談するに足る人物なりと云つた。今の世は此偉人を如何に見るか、狂か愚か偉か賢か。（洸）

㊝ 定價一部 五十錢
一ヶ年分 金六圓

東京市麹町區霞關一丁目内務省内
發行所 社團法人 道路改良會
電話銀座(57)〇四二七
振替口座番號東京一九〇六八

東京市赤坂區氷川町一七
發行者編輯者 平井良成

東京市小石川區諏訪町五六
印刷所（東京二〇） 株式會社常磐印刷所
印刷者 奈良直一

日本出版會會員番號二二〇〇四五